

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 11 月 14 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471504351		
法人名	有限会社 日野企画		
事業所名	グループホーム プリムローズ草戸		
所在地	広島県福山市草戸町5丁目10番11号		
自己評価作成日	令和4年10月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=3471504351-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島県安芸郡海田町堀川町 1 番 8 号
訪問調査日	令和 4 年 11 月 14 日 (月)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気の中で入居者の方々がのんびりと落ち着いた生活ができるように努めている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム プリムローズ草戸は、職員は、利用者を「入居者それぞれがその人らしい自立した生活へ向けて支援します。家庭的雰囲気の中で地域社会との絆を大切にします。人と人とのふれあいを大切にやさしさと思いやりの心で温かみのある生活の場を提供します」をリビングに掲げて、日々のケアに取り組んでいる。職員は、出勤時・退勤時に確認している。又、「人や妖精が気持ちよく寝そべることが出来る場所にしたい」というコンセプトの下で、ケアをしている。利用者の希望や体調に沿って、短時間でも戸外に出かける機会を大切に支援し、利用者と職員が一緒に、周辺の花見や初詣に出かけ、畑の野菜の水やりや収穫等を楽しまれている。利用者がゆっくり、ゆったりと自分のペースで生活出来るように、思いや意向の把握に努め、体操やレクリエーションを楽しまれる等、利用者一人ひとりの出来る事を活かされ、活躍出来る場面作りをして、張り合いや喜びのある日々が過ごせるように支援している。

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	当ホーム独自の理念を作っている。職員全員がその理念を念頭におき仕事するように取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念「入居者それぞれがその人らしい自立した生活へ向けて支援します。家庭的雰囲気の中で地域社会との絆を大切にします。人と人のふれあいを大切にしやさしさと思いやりの心で温かみのある生活の場を提供します」をリビングに掲げている。職員は、出勤時・退勤時に確認している。職員は、利用者の訴えに対し、その場しのぎの対応ではなく、横に座り、本人の想いを受け止め、ゆっくりと穏やかに接する事を意識している。ミーティング時には、全員で理念を唱和し、理念を共有し実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している。	地域の一員として、清掃作業や行事に参加する事などにより交流を持っている。	町内会の回覧板が回って来ていて、地域での行事や情報が確認出来ている。運営推進会議時に、町内会長が出席して、行事や町内の様子を説明している。近所の方が、ナイロン袋や新聞紙を持参頂き、交流している。事業所から近くの体育館までの散歩に出かけた時には、近所の方と挨拶を交わしている。	コロナ禍の為、地域の方達との交流が出来ていないので、収束後は、地域の方と交流出来る様に、準備をされる事を期待します。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事や自由な行き来により利用者の方々とふれあいを作り、地域の方々にも理解していただいている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	毎回会議において、サービス向上への意見・評価をいただいている。	運営推進会議は2ヶ月毎に開催され、地域包括支援センター職員・町内会会長・老人会会長・民生委員・管理者・ケアマネージャー・職員代表・家族が参加し、事業所の現状報告・行事報告・検討事項を意見交換等している。コロナ禍で、開催できない時には、職員で書面開催を行い、議事録を送付して、意見や要望を聞いている。そこでの意見や提案を検討し、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括ネットワーク会議の参加により市町村の担当の方と連携がとりやすくなっている。	市担当者とは、電話や直接出向いて、情報交換や相談を行い助言を得る等、協力関係を築くように取り組んでいる。地域包括支援センター職員とは、運営推進会議時や電話等で情報交換を行い、連携を図っている。又、研修の案内を頂いたり、空室情報を頂いている。居宅介護支援センターも、空室情報の情報交換を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員の研修により、正しいケアを学んだ。	職員は「身体拘束等適正化のためのマニュアル」を基に、内部研修(身体的拘束等の排除の取り組み、高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止)や、3ヶ月毎に開催している「身体拘束適正化委員会」の事例を通して学び、身体拘束の内容と弊害、スリーロック(スピーチ、ドラッグ、フィジカル)について正しく理解している。玄関は施錠をしないで、外出したい利用者とは、職員と一緒に出かけたり、気分転換を図る等工夫をして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員一人一人が、虐待の取り方を研修により理解すると共に、虐待の見逃しがないように注意し、見守る。			

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は研修により、学ぶ機会を得られた。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時等、説明を行い、理解していただいた時点で、捺印していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情相談窓口をもうけ、対応できるようにしている。	苦情、相談受付体制や第三者委員を明示し、処理手続きを定めて、契約時に家族に説明をしている。玄関での窓越し面会時や電話等で、家族からの意見や要望を聞いている。請求書送付時に、「プリムローズ草戸だより」を送付し、利用者の様子を伝え、意見や要望を言い易くしている。個別ケアに関する要望にはすぐに対応し、家族に報告する等、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回ミーティングを行い、意見等を聞いている。朝夕申し送りを行う。	管理者は、月1回のミーティング時や申し送り時に聞く他、日常の業務の中で、いつでも気軽に意見が言えるような雰囲気作りに努めている。内部研修の内容や、利用者の楽しみのためのレクリエーションの企画、利用者と家族の絆を継続する為の検討等、職員の意見や提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員各自の向上心にまかせているし、要望等に対応している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修には出来るだけ参加を促し、参加した者が、他の職員にも伝える。(内部研修として)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月1回の会議にて、情報交換等努めている。		

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人・家族との面接の機会を得ることで、ゆっくり話せる時間を取るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の方とは、事前に来所等で聞く機会を得ている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族の希望と、本人の状況を見ながら、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意見を大切に、相談や「ど～したらいい？」と聞くことにより、共感できる場を作るように心がけている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	行事への参加の声かけ、面接時の声かけにて、一緒に支えたり助け合えるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の面会・外出・外泊をすすめている。(今は、コロナ感染拡大防止のため不可能だが)	家族の面会や親戚、知人、友人の来訪がある他、電話の取次ぎの交流を支援している。又、盆・正月には、自宅に連れて帰られ外泊し、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が中に入り、気軽に会話できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	該当者がいませんが、大切にしていきたい。		

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ゆっくり本人に聞き取りながら、希望にそうよう把握していつている。	入居時には本人と家族、入居前施設からの情報を得て、基本情報に記録し、思いの把握に努めている。日々の関わりの中で、利用者の発した言葉や表情、様子等を介護記録に記録し、思いや意向に関連する所を、分かるようにしている。把握が困難な場合は、職員間で話し合い、常に本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	前サービス利用等の情報収集に努め、家族からの聞き取りなどで把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の暮らしの中で、把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	家族への状況説明、主治医・職員の意見を聞きながら、作成に取り組んでいる。	計画作成担当者と職員で、3ヶ月に1回、カンファレンスを開催して、本人や家族の意向、主治医や看護師、歯科医師の意見を参考にして話し合っている。3ヶ月毎に、モニタリングを行い、6ヶ月毎に、介護計画書を見直している。利用者の状態や家族の要望に変化があれば、その都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録し、活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	他の事業所機関との連携をとり、支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	これからの取り組みを考えていく。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	通院・往診・緊急時対応等、協力していただいている。	利用者、家族の同意を得て、協力医療機関をかかりつけ医としている。かかりつけ医は、2週間に1回往診があり、希望者には、訪問歯科医の往診がある。他科受診は、職員が受診に連れて行っている。緊急時や夜間は、管理者に連絡した後、看護師・かかりつけ医と連携して、24時間適切な医療が受けられるように支援している。	

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけの病院の看護師に気軽に相談でき、適切なアドバイスを受けている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携できている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期にあたり、当所の方針を説明し、家族・かかりつけ医とも共有している。	契約時に、家族に「重度化及び看取りに関する指針」に基づいて、説明をしている。実際に重度化した場合は早い段階から、医師からの説明を受け、家族の意向を聞き、医療機関や他施設への移設等を含めて関係者で話し合い、方針を決めて共有し、チームで支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアル作成により、訓練等に、活かしている。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練、消防署立ち合い1回/年として行っている。	年2回、昼・夜間を想定した避難訓練を、利用者も参加して実施している。運営推進会議開催時に、内年1回、消防署立会いの下、地域の人(町内会長・民生委員)も参加して、通報訓練、避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方、防災機器、設備の場所、誘導等の訓練を実施している。又、地域の消防訓練に参加している。	災害に向けて、マニュアル作りや避難訓練・災害時の非常食の備蓄等の備えを実施する事を期待します。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の取り扱いには、十分気をつけている。	職員は、接遇研修や内部研修(個人情報とプライバシー保護)で学び、利用者を人生の先輩として尊敬の念を持ち、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。不適切な対応があれば、話し合いをしている。個人記録の保管や取り扱いに留意し、守秘義務は厳守している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ゆっくり話し、聞き取れるよう、気をつけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者の状況により、ペースを合わせている。			

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望にそえるよう努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る方には一緒に行っているが、できない方が多く、できる範囲で、していただいている。	3食手作りで、食材を外注業者から取り寄せ調理している。利用者は、もやしのひげ取りや、盆拭き・テーブル拭き・下膳・手拭き畳み等、職員と一緒に出来る事をしている。季節の料理(七夕やひな祭り、おせち等)を作り、提供している。又、利用者からの献立希望で、巻き寿司やばら寿司を買ってきて、皆さんで楽しく食している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	本人の状態に応じて対処している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	声かけ・見守りにより、入居者全員の口腔ケアに、努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	適度な声かけをし、トイレでの排泄を促している。	排泄チェック表を活用して、一人ひとりの排泄習慣や排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮した言葉かけや対応をして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援をしている。ポータブルトイレや紙パッド使用等も含めて、出来るだけ排泄の自立に向けた声掛けや介助をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便のチェック、水分摂取などに気をつけている。主治医への相談も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	一応の決まりがあるが、希望により入浴日・時間を変えて、利用していただいている。	週3回、午前中に入浴支援を行っている。入浴の順番や入浴時間、入浴剤の利用、季節の柚子湯等、利用者の希望に応じてゆったりとくつろいだ入浴となるように支援している。利用者の状態に合わせて、清拭や足浴、部分浴等、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活リズムを考え、必要なら薬など服用していただき、眠り・休息できるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	理解し、服薬の管理も徹底している。		

グループホーム プリムローズ草戸

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>できる方は、できる事が限られている。やりたいのに手が出せない・・・など問題もあり、一人一人のパターンを見ながら、やっていただく。</p>			
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日、散歩の声かけなど行い、年4・5回家族へも声かけし、外出の機会を作るが、今はコロナ感染拡大防止のため外出せずにいる。</p>	<p>コロナ禍により、外出の頻度は減少したが、近所の体育館迄散歩に出かけたり、川沿いの桜の花を見に出掛けている。又、ドライブでバラ公園や花園にひまわりや菜の花を見に出掛けている。事業所内の畑に花を植えたり、ウッドデッキのプランターに花を植えて、水やりを行ったり、咲いた花を切って、花瓶に活けることをして、楽しまれている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お預かりしているおこづかいを、必要時に使っていただいている。</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば電話の利用や、面会等を支援している。</p>			
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>花を飾ったり、季節の物を置き、共用のものも自由に使えるよう工夫している。</p>	<p>居間兼リビングは、大きな窓から明るい日差しが差し込んでいる。玄関やリビング、廊下には季節の置物や生花を飾り、壁面には、貼り絵、切り絵や折り紙の作品を飾っている。リビングやキッチンも広々としており、テレビやソファ、机、椅子が利用者が使いやすいように配置し、利用者がゆったりとくつろげる居場所となっている。温度、湿度、換気、清潔に配慮し、定期的に消毒をして、利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファを置き、自由に利用者同士が、行き来できるよう工夫している。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れたものを持ってきていただいたり、本人・家族の意向を取り入れている。</p>	<p>布団、衣装ケース、テレビ、時計、クッション、時計、ハンガーラック、編み物等、使い慣れた物や大切な物を持ち込み、家族の写真、賞状を飾って、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下等、手すりを利用し、トイレ・洗面所等わかりやすく表示する事によって、自ら行き来できるよう工夫している。</p>			

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない(コロナ感染拡大防止のため)
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

グループホーム プリムローズ草戸

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない(コロナ感染拡大防止のため)
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム プリムローズ草戸

作成日 令和 4 年 11 月 15 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策	マニュアルの徹底	訓練と研修の実施	1年
2	13	外部・内部の研修強化	年間研修計画を立てる	担当を決め、研修の場を設け、実施するまで責任を持たせ、意欲を高める。	1年
3	2	地域の交流をもっと増やす	当所での行事には、参加されるよう声掛けし、地域行事には、積極的に参加する。	回覧板・広告板での通知。盆踊り・祭りなど参加。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。